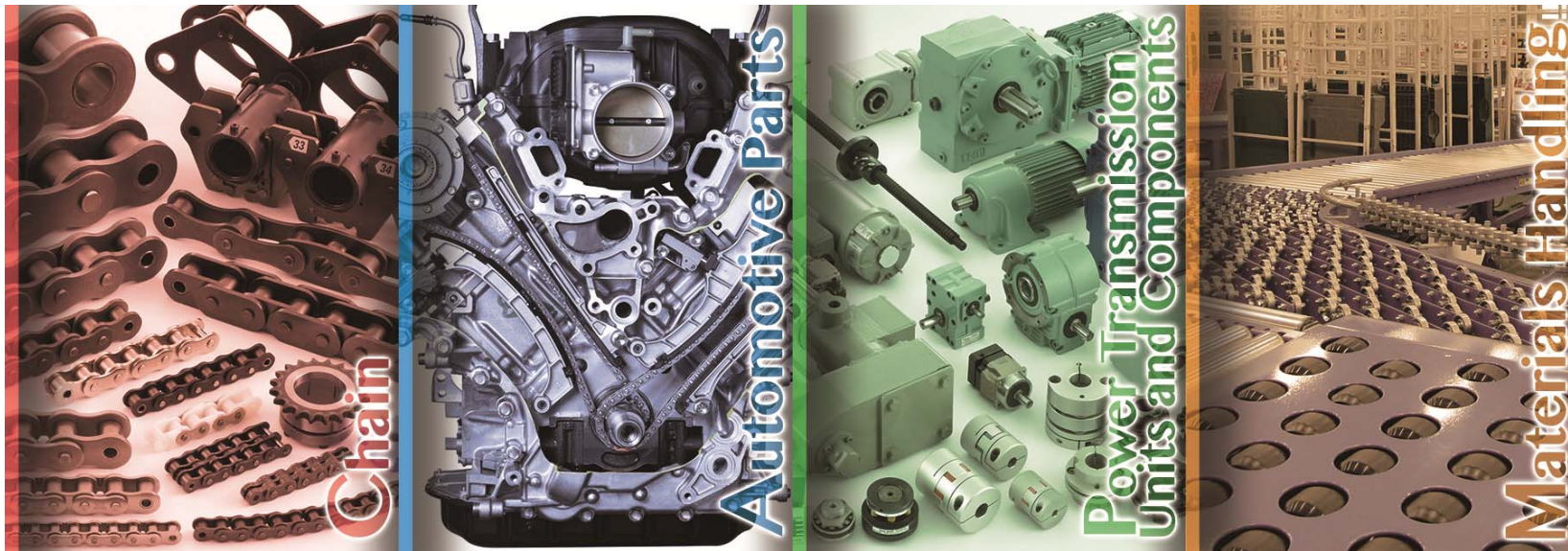


株式会社椿本チエイン 2017年3月期 第2四半期決算説明会



2016年11月22日

2017年3月期 第2四半期 連結業績報告

注) 本資料で表記する「上期」は、当該連結会計年度における4月1日～9月30日、
「下期」は、同10月1日～翌3月31日を示します。
(海外子会社の一部は、上期：1月1日～6月30日、下期：7月1日～12月31日となります)

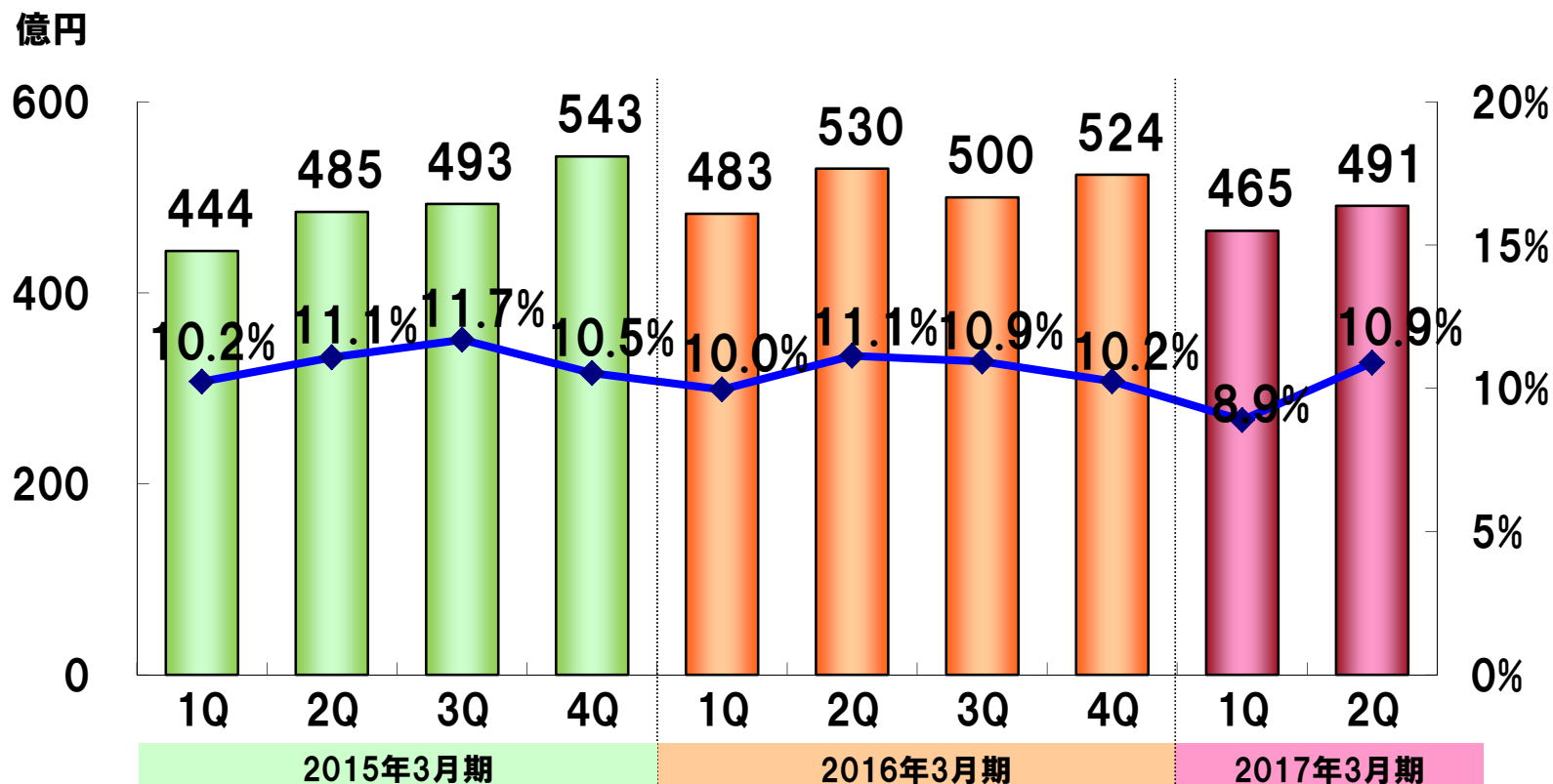
1. 上期レビュー 連結決算ハイライト

- 利益は期初予想を上回り着地。
ただし、為替影響などにより、前年同期比で減収減益

	2016年3月期	2017年3月期	前年同期比	(単位：百万円)	
	上期実績	上期実績	増減率	期初予想比	増減率
				予想値	
売上高	101,488	95,740	▲5.7%	100,000	▲4.3%
営業利益	10,727	9,490	▲11.5%	9,200	3.2%
営業利益率	10.6%	9.9%		9.2%	
経常利益	11,362	9,655	▲15.0%	9,400	2.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7,232	6,392	▲11.6%	5,800	10.2%
1株当り四半期純利益	38.66円	34.17円	—	31.00円	—
為替レート (1US\$)	121.88円	105.21円	—	105.00円	—
為替レート (1EURO)	135.10円	118.05円	—	120.00円	—
自己資本比率	55.4%	56.0%	自己資本/総資産		
ネット D/E レシオ	0.07倍	0.04倍	(有利子負債-現預金)/自己資本		

2. 上期レビュー 四半期毎連結業績の推移

■ 売上高、営業利益率の推移（連結）

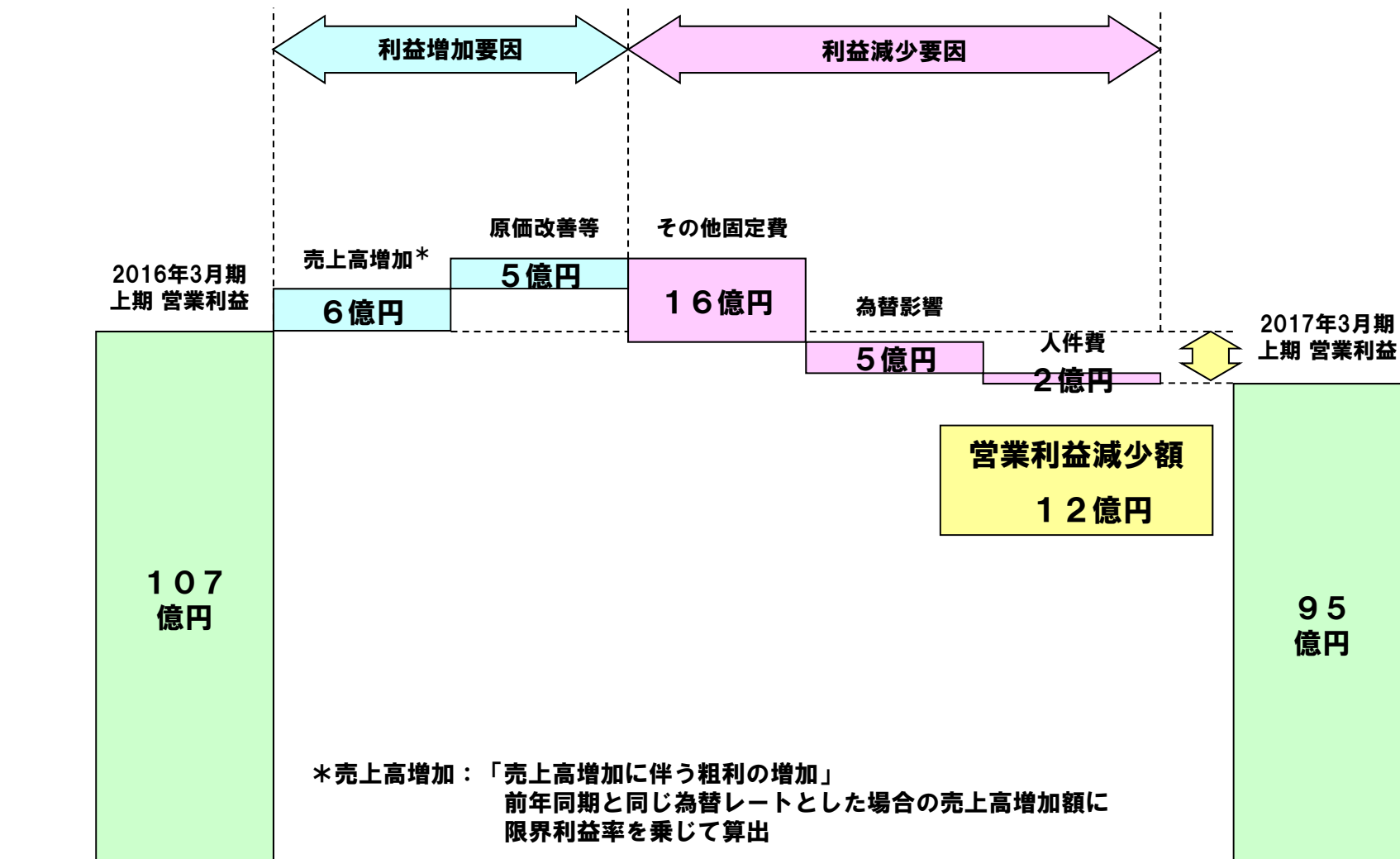


主な為替レート	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期 (2Q累計)
US\$	109.76円	120.15円	105.21円
ユーロ	138.69円	132.60円	118.05円

単位：億円、 ■ : 売上高、 ◆ : 営業利益率

3. 上期レビュー 連結営業利益増減要因分析

■ 2016年3月期上期実績 vs 2017年3月期上期実績



※営業利益の実績値は四捨五入後の数値です。

4. 上期レビュー 事業セグメント別業績

5

■ 全セグメントで減益。

ただし、チェーン、自動車部品は為替影響を除くと増益

(単位：百万円)

		2016年3月期	2017年3月期	前年同期比	期初予想比	
		上期実績	上期実績	増減率	予想値	増減率
チェーン	売上高 ^{※注1}	32,498	29,110	▲ 10.4%	30,000	▲ 3.0%
	営業利益	3,128	3,065	▲ 2.0%	2,700	13.5%
	営業利益率	9.6%	10.5%		9.0%	
精機	売上高 ^{※注1}	11,081	10,453	▲ 5.7%	10,900	▲ 4.1%
	営業利益	1,212	954	▲ 21.3%	950	0.4%
	営業利益率	10.9%	9.1%		8.7%	
自動車部品	売上高 ^{※注1}	35,821	36,473	1.8%	37,600	▲ 3.0%
	営業利益	5,915	5,822	▲ 1.6%	5,600	4.0%
	営業利益率	16.5%	16.0%		14.9%	
マテハン	売上高 ^{※注1}	22,158	19,699	▲ 11.1%	21,200	▲ 7.1%
	営業利益	481	▲ 37	—	250	—
	営業利益率	2.2%	▲ 0.2%		1.2%	
その他 ^{※注2}	売上高 ^{※注1}	1,424	1,397	▲ 1.9%	1,800	▲ 22.4%
	営業利益	20	▲ 25	—	0	—
	営業利益率	1.4%	▲ 1.8%		0.0%	

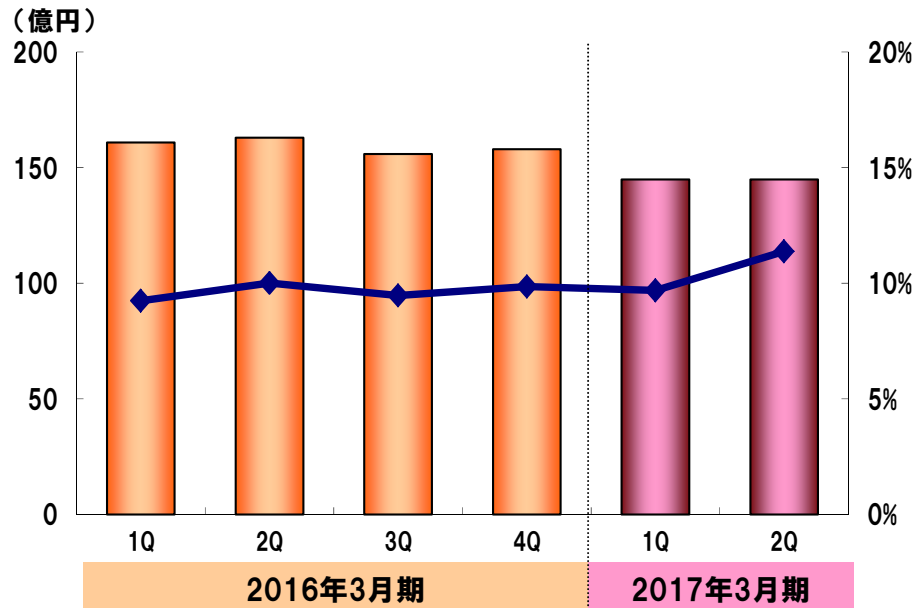
※注1：売上高の数値には、「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。

※注2：「その他」は、報告セグメントではありません。

5. 上期レビュー 事業セグメント別業績推移

■ 売上高、営業利益率の推移

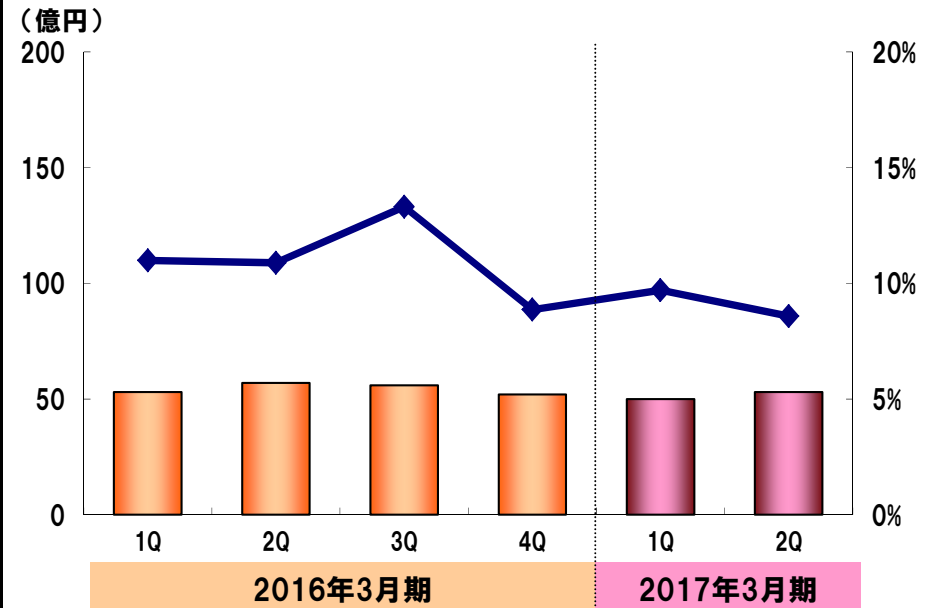
● チェーン事業



<地域別>

- ・ 日本：やや減収も、収益改善により増益
- ・ 米州：需要は横ばい。円高の影響で減収減益
- ・ 欧州、環インド洋：需要やや弱く、円高の影響もあり減収減益
- ・ 中国：前年同期比で増収。収益性を改善するも、黒字計上ならず

● 精機事業



<地域別>

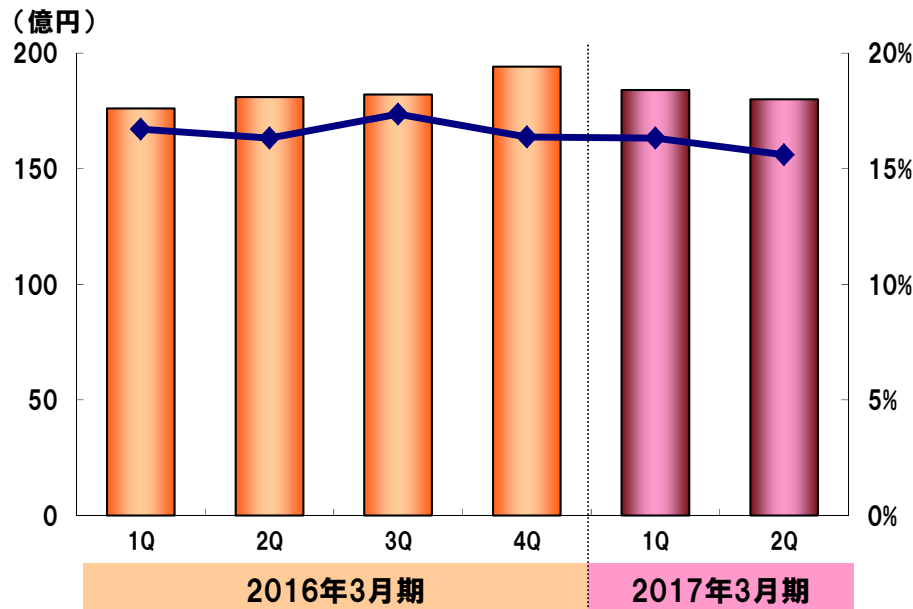
- ・ 日本：需要は堅調。収益面では工場再編などにより、減益
- ・ 中国：全般的に不調。大幅な減収減益
- ・ 米州：規模は小さいながら、増収増益

単位：億円、：売上高、：営業利益率

5. 上期レビュー 事業セグメント別業績推移

■ 売上高、営業利益率の推移

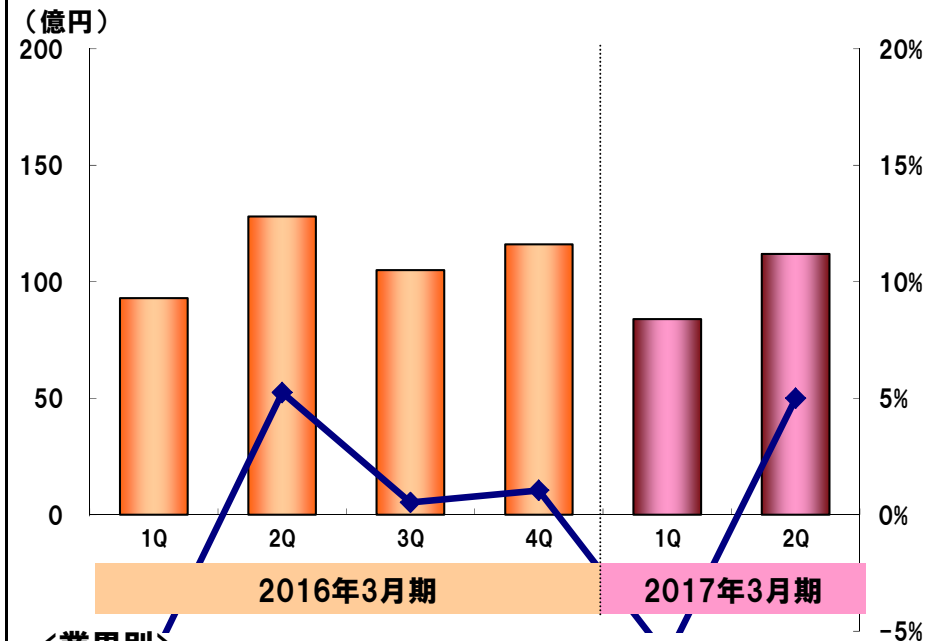
● 自動車部品事業



<拠点別>

- ・ 日本：国内自動車生産減少の影響で減収減益
- ・ 米州：好調維持。円高の影響で減収も増益。
メキシコ子会社が新規連結
- ・ 欧州、タイ、中国：好調。円換算でも増収増益
- ・ 韓国：需要好調も、費用増加等で減益

● マテハン事業



<業界別>

- ・ 自動車、ライフサイエンス、自動車向けが不調
- ・ 工作機械向けコンベヤ：米国、欧州は堅調。国内は不調も収益性を改善
- ・ 粉粒体搬送設備：需要は横ばいも増益

単位：億円、：売上高、：営業利益率

6. 上期レビュー 所在地別業績

		(単位：百万円)		
		2016年3月期	2017年3月期	前期比
		上期実績	上期実績	増減率
米 州	売上高 ^{※注}	26,335	25,070	▲ 4.8%
	営業利益	2,428	2,673	10.1%
	営業利益率	9.2%	10.7%	
欧 州	売上高 ^{※注}	12,456	11,796	▲ 5.3%
	営業利益	276	198	▲ 28.3%
	営業利益率	2.2%	1.7%	
環インド洋	売上高 ^{※注}	6,113	6,084	▲ 0.5%
	営業利益	845	843	▲ 0.3%
	営業利益率	13.8%	13.9%	
中 国	売上高 ^{※注}	7,888	8,146	3.3%
	営業利益	209	230	9.8%
	営業利益率	2.7%	2.8%	
韓国・台湾	売上高 ^{※注}	4,071	4,175	2.5%
	営業利益	189	160	▲ 15.6%
	営業利益率	4.7%	3.8%	
日 本	売上高 ^{※注}	60,405	56,107	▲ 7.1%
	営業利益	6,059	4,627	▲ 23.6%
	営業利益率	10.0%	8.2%	

※注：売上高の数値には、「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。

<主な実績レート>

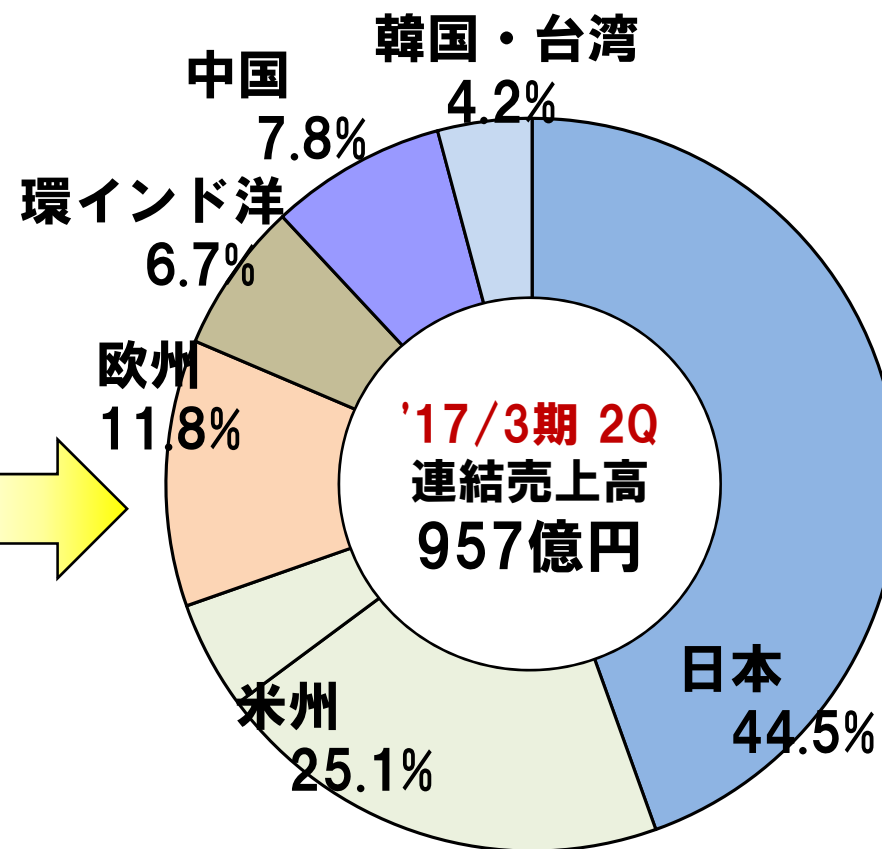
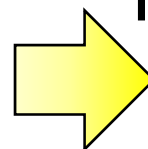
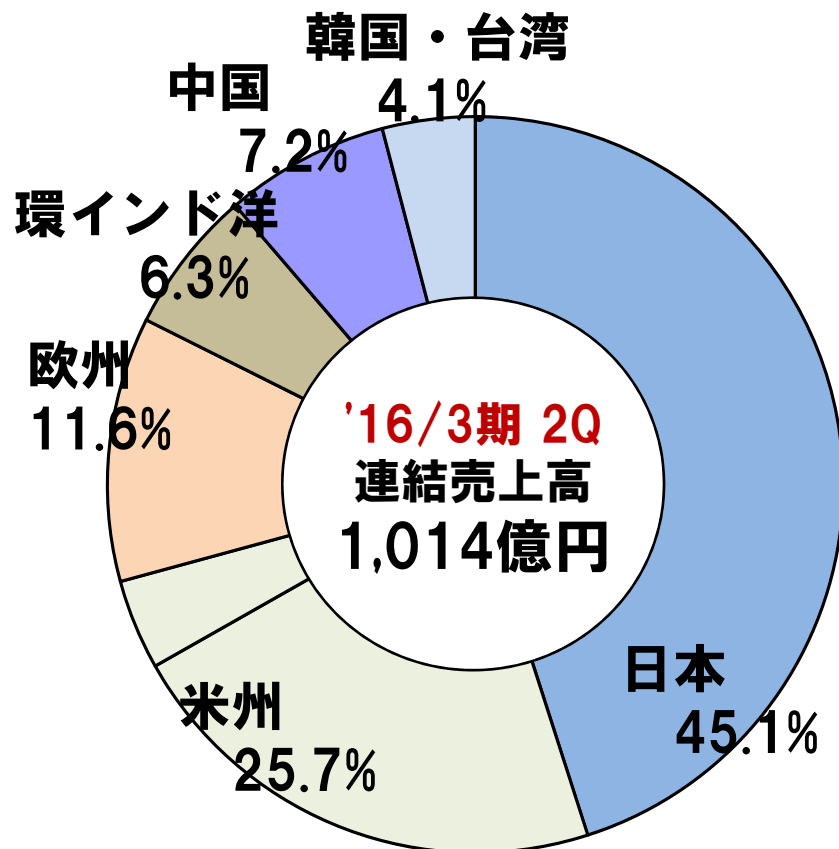
'16/3 上期：US\$=¥121.88, EURO=¥135.10, Can\$=¥96.12, A\$=¥91.62, THB=¥3.655, NT\$=¥3.88, RMB=¥19.32, WON=¥0.109

'17/3 上期：US\$=¥105.21, EURO=¥118.05, Can\$=¥81.11, A\$=¥79.04, THB=¥3.1507, NT\$=¥3.27, RMB=¥17.05, WON=¥0.094, MXN=¥6.18

7. 上期レビュー 地域別売上高比率

2016年3月期 第2四半期
海外売上高※比率：54.9%

2017年3月期 第2四半期
海外売上高※比率：55.5%



※売上高は、顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています。

2017年3月期 通期 連結業績予想

1. 17年3月期 通期連結業績予想

■ 足下の業況、為替の状況等を鑑み、
通期業績予想をやや下方に修正（2016年11月7日発表）

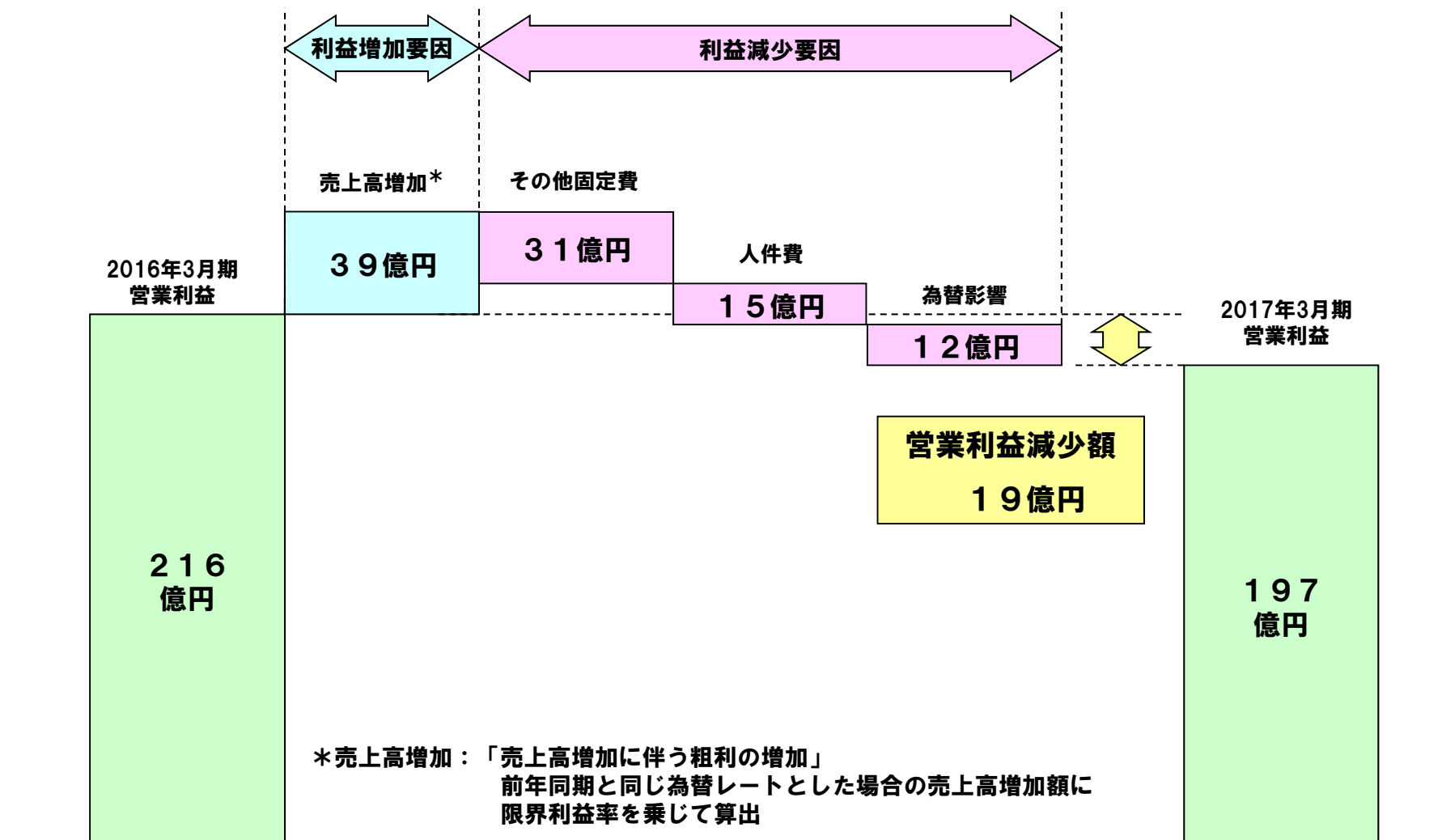
（単位：百万円）

	2016年3月期		2017年3月期		前期比	期初予想比
	実績	上期実績	下期予想	通期予想	増減率	増減率
売上高	203,976	95,740	101,260	197,000	▲3.4%	▲4.4%
営業利益	21,570	9,490	10,210	19,700	▲8.7%	▲5.3%
営業利益率	10.6%	9.9%	10.1%	10.0%		
経常利益	22,109	9,655	9,845	19,500	▲11.8%	▲7.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	12,766	6,392	6,308	12,700	▲0.5%	▲5.2%
1株当たり当期純利益	68.24円	34.17円	—	67.89円	—	—
（為替レート 1US\$）	120.15円	105.21円	100.00円	—	—	—
（為替レート 1EURO）	132.60円	118.05円	110.00円	—	—	—
1株当たり配当金（円）	20.00	11.00	11.00	22.00	10.0%	0.0%
配当性向（連結）	29.3%	—	—	32.4%	—	—

2. 17年3月期 連結営業利益増減要因分析

12

■ 2016年3月期実績 vs 2017年3月期予想



※営業利益の実績値は四捨五入後の数値です。

3. 17年3月期 事業セグメント別業績予想

13

		(単位：百万円)					
		2016年3月期		2017年3月期		前期比	期初予想比
		通期実績	上期実績	下期予想	通期予想	増減率	増減率
チェーン	売上高 ^{※注1}	63,998	29,110	29,790	58,900	▲8.0%	▲5.0%
	営業利益	6,172	3,065	2,935	6,000	▲2.8%	▲4.8%
	営業利益率	9.6%	10.5%	9.9%	10.2%		
精機	売上高 ^{※注1}	21,975	10,453	10,547	21,000	▲4.4%	▲5.4%
	営業利益	2,428	954	846	1,800	▲25.9%	▲5.3%
	営業利益率	11.0%	9.1%	8.0%	8.6%		
自動車部品	売上高 ^{※注1}	73,473	36,473	38,127	74,600	1.5%	▲4.2%
	営業利益	12,258	5,822	5,878	11,700	▲4.6%	▲2.5%
	営業利益率	16.7%	16.0%	15.4%	15.7%		
マテハン	売上高 ^{※注1}	44,354	19,699	22,001	41,700	▲6.0%	▲2.6%
	営業利益	659	▲37	737	700	6.2%	▲36.4%
	営業利益率	1.5%	▲0.2%	3.3%	1.7%		
その他 ^{※注2}	売上高 ^{※注1}	3,186	1,397	2,403	3,800	19.3%	▲5.0%
	営業利益	84	▲25	25	0	-	-
	営業利益率	2.6%	▲1.8%	1.0%	0.0%		

※注1：売上高の数値には、「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。 ※注2：「その他」は、報告セグメントではありません。

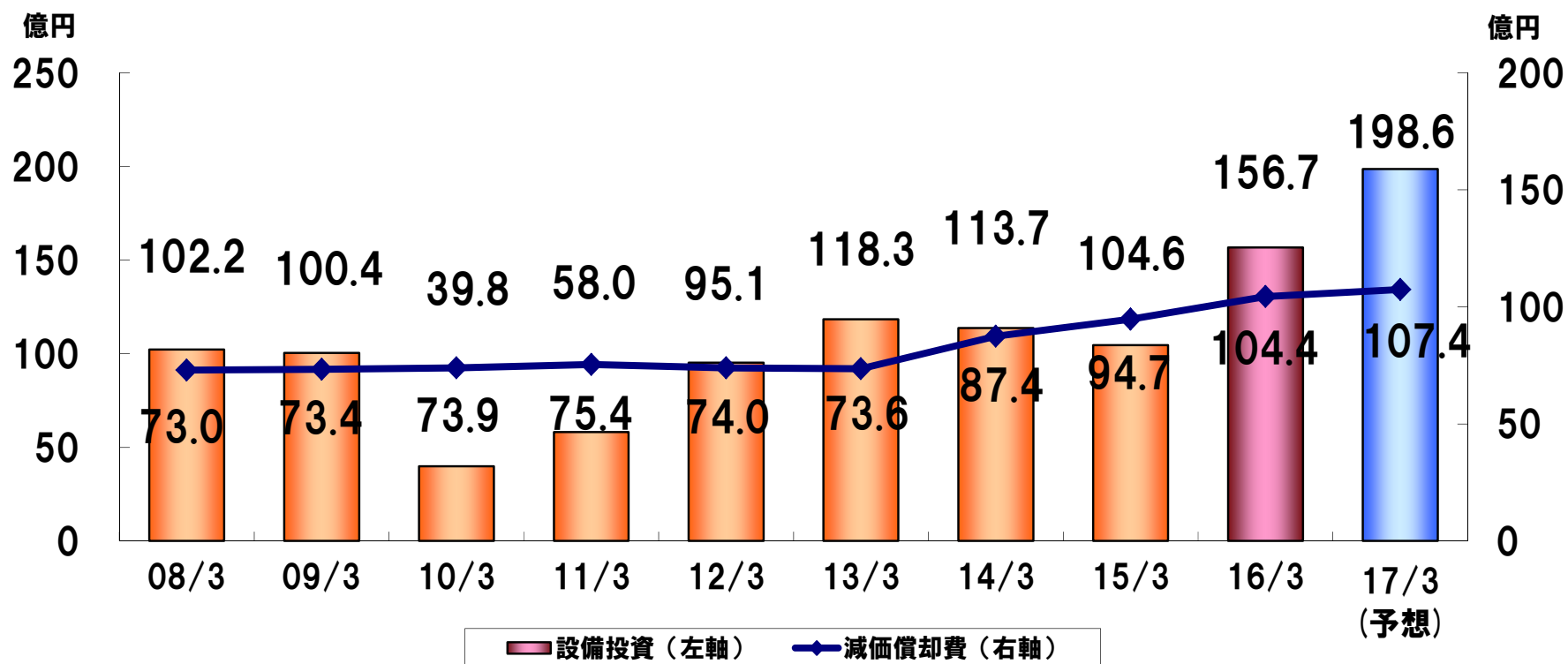
4. 17年3月期 設備投資・減価償却費

14

■ 成長力強化に向けた「資本投入」

- ① 自動車部品事業のグローバル生産体制強化（埼玉、米国ほか）
- ② チェーン事業の生産設備関連（京田辺、米国ほか）

< 設備投資と減価償却費の推移 >



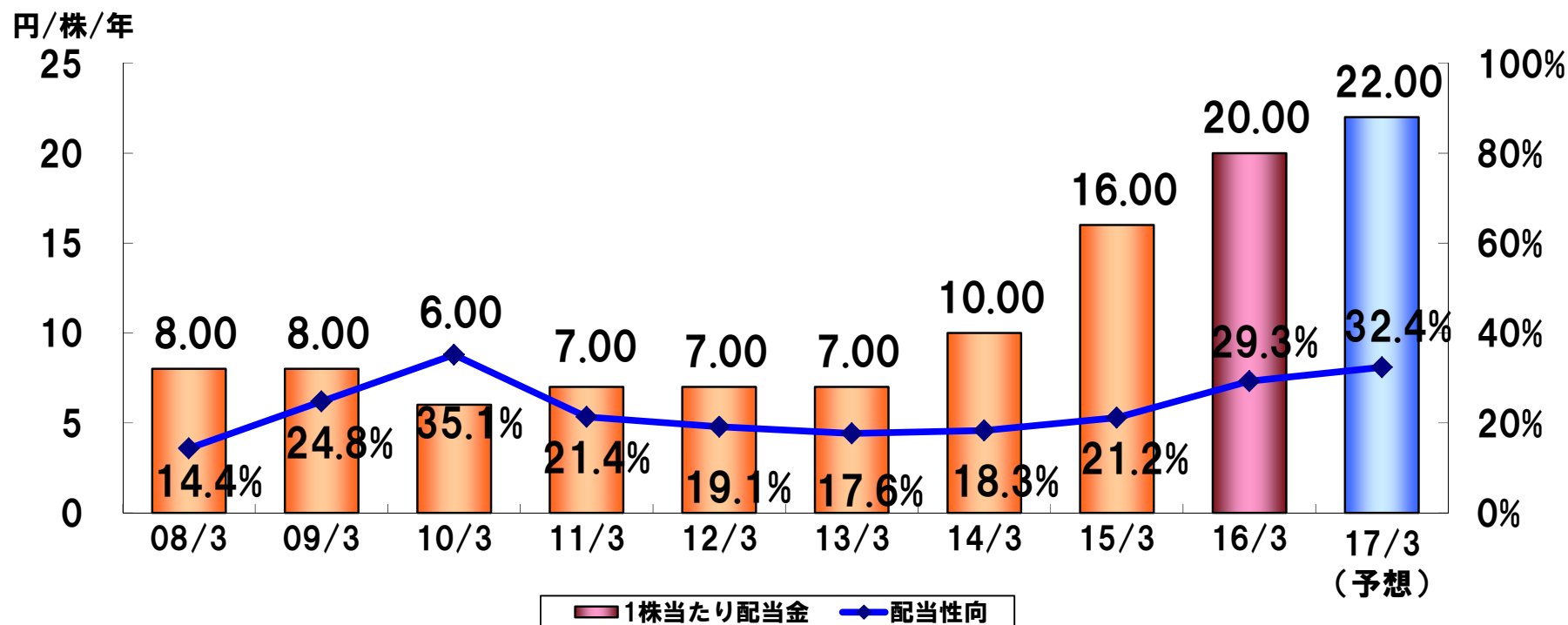
5. 17年3月期 株主還元

15

■ 配当方針

- ・ 連結業績を反映した配当を基本方針とし、
連結配当性向30%を目標とした利益配分を目指す。

< 1株当たり配当金、連結配当性向の推移 >



成長力強化に向けて

1. 長期ビジョンと中期経営計画

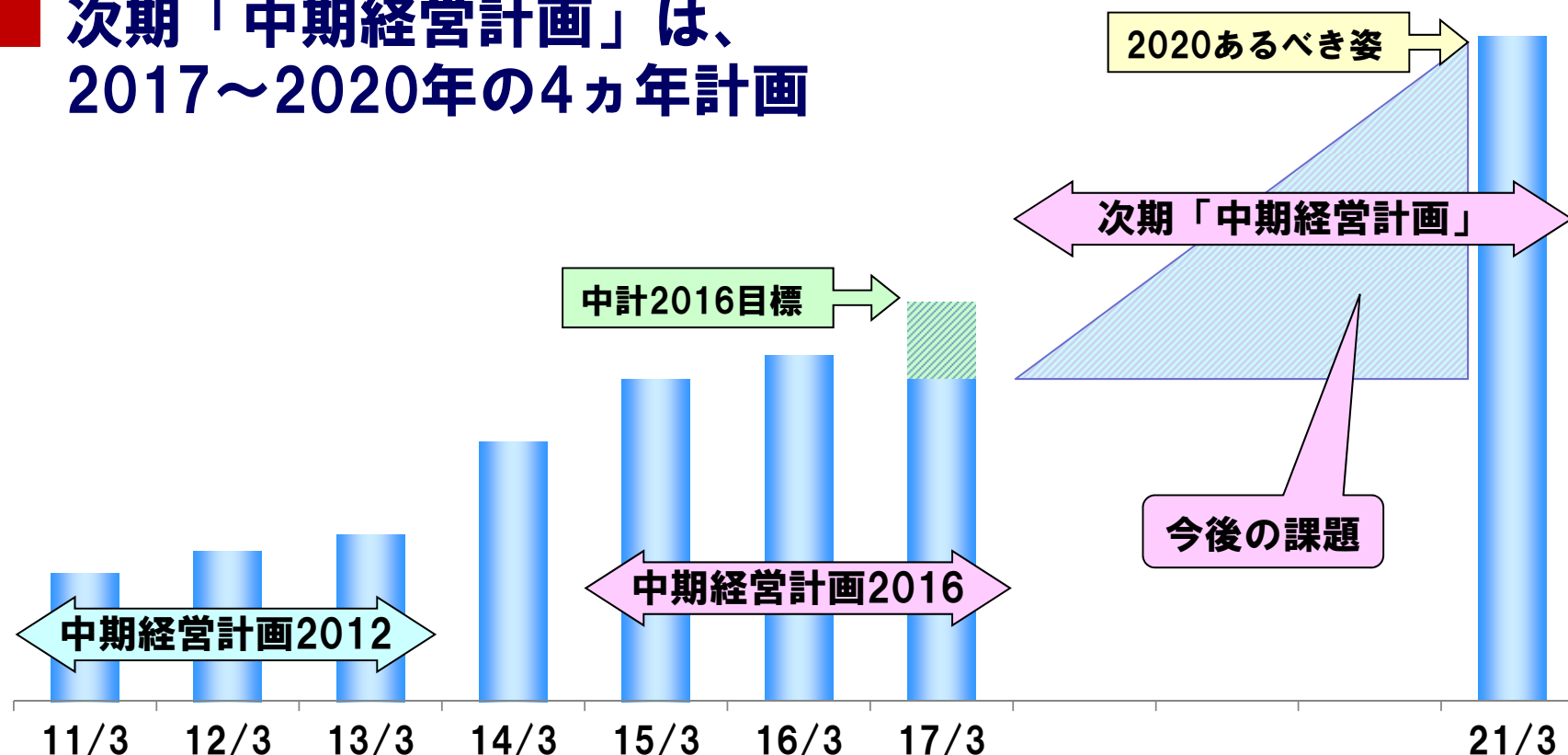
17

■ 2020年あるべき姿：グローバルトップ企業

「長期ビジョン2020」で掲げた数値目標は不変。

連結売上高：3,000億円、営業利益率：10%の達成を目指す

■ 次期「中期経営計画」は、2017～2020年の4ヵ年計画



2. 成長力強化への取り組み

18

■ チェーン事業



- ① 海外の生産力強化
 - ・コンベヤチェーンの環インド洋ほかへの輸出（中国・天津）
 - ・イタリアのチェーンメーカーと技術援助契約を締結（欧州）
- ② 京田辺工場の生産改善
- ③ 新商品開発
 - ・創業100周年モデル「G8」シリーズ：4モデルを国内発売
- ④ QRコードを活用した部品保守メンテナンス情報管理システム「つばきSMILE」始動（SMILE：Smart Information Link for Engineers）

■ 精機事業

- ① 国内工場再編 ～収益改善への取り組み～
 - ・16年8月、移転完了。製造部門統合、技術部門統合を実施
 - ・〈目標〉生産性30%向上、リードタイム短縮、在庫削減
- ② 新商品開発力の強化
 - 17年度、新商品（創業100周年モデル）を順次発売

2. 成長力強化への取り組み

19

■ 自動車部品事業

① 生産能力増強

- ・ 兵庫工場の活用（日本）
- ・ 生産規模拡大（米国、韓国、中国）
- ・ 新工場建設（チェコ：本格生産開始は2018年） など

■ マテハン事業

① 新商品投入による受注拡大

- ・ 多段構造仕分機「リニソートS-C」、
「ラボストッカ」（小型標準型）など

② メイフランビジネスの強化

- ・ スロバキア工場でのチップコンベヤ集中生産

③ 海外工場の活用

- ・ インドネシア工場、インド工場の活用



多段構造仕分機「リニソートS-C」



グループ総合力の発揮

商品力の強化

**本資料に記載している事業計画および業績予想等に関する記述は各資料の作成時点において当社が入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
実際の業績は、各種要因により、これらの業績予想とは異なる結果になり得ることをご承知おきください。**